

## 携帯端末向け地上デジタル放送の方式比較

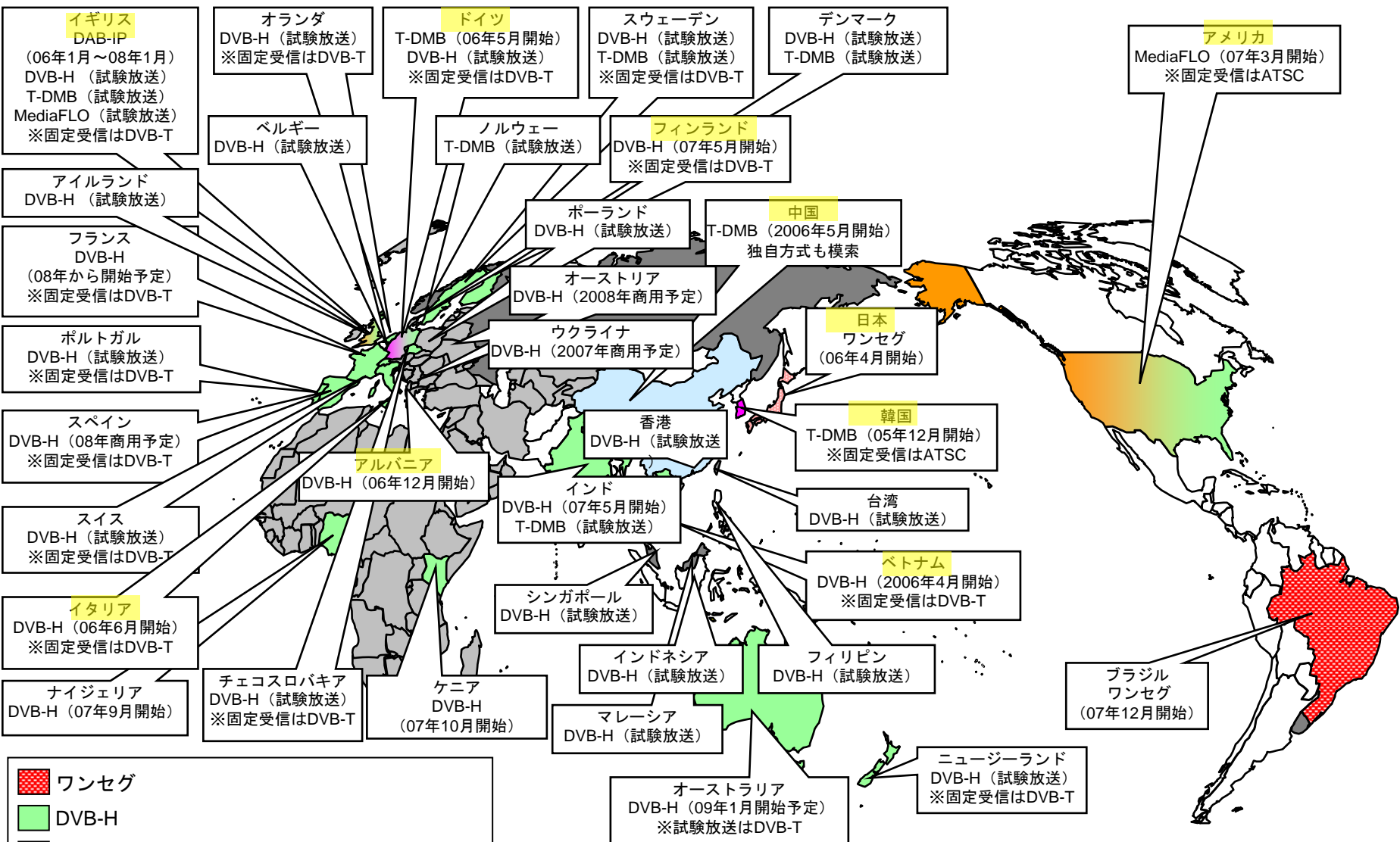
---

# 携帯端末向け地上デジタル放送の方式比較

出典：海外電気通信、各社HPなど

	ISDB-T(1セグ)	ISDB-T <sub>SB</sub>	T-DMB	DVB-H	MediaFLO	IBOC
概要	日本の地上デジタルテレビ放送方式。同一周波数にてHDTVとの同時送信が可能	日本の地上デジタル音声放送方式。(ワンセグ放送と互換の1セグ形式と、独自の3セグ形式をサポート)	欧州のデジタル音声放送方式DAB(ETSI規格)を改良したもの	欧州の地上デジタルテレビ放送方式DVB-T(ETSI規格)の携帯端末向け版	米QUALCOMM社が開発した方式。FLOはForward Link Onlyの略	米iBiquity社開発の音声放送方式。IBOCはIn-Band On-Channelの略
国際標準化 (ITU-R勧告)	(2007年12月) ※ITU-R勧告BT.1833	(2007年12月) ※ITU-R勧告BT.1833	(2007年12月) ※ITU-R勧告BT.1833	(2007年12月) ※ITU-R勧告BT.1833	(2007年12月) ※ITU-R勧告BT.1833	なし
サービス開始時期	2006年4月(日本)	2003年10月(日本) ※実用化試験放送	2005年12月(韓国) 2006年5月(独)	2006年6月(伊)	2007年3月(米)	2002年10月(米)
使用周波数帯	470~770MHz(日本)	188~192MHz(日本)	174~216MHz(韓国) 1450~1492MHz(独)	UHF(470~838MHz)、 L-Band(1.5GHz帯)	716~722MHz(米)	AM、FM
伝送帯域幅	約429kHz (1/14 of 6、7、8MHz)	429kHz(1セグ形式) 1.29MHz(3セグ形式)	約1.54MHz x 3ch多重 (6MHz)	6MHz (5、6、7、8MHz)	6MHz (5、6、7、8MHz)	AM: 35kHz、 FM: 400kHz
伝送方式	OFDM	OFDM	OFDM	OFDM	OFDM	OFDM
キャリア変調方式	DQPSK、QPSK、 16QAM、64QAM	DQPSK、QPSK、 16QAM、64QAM	DQPSK	QPSK、 16QAM、64QAM	QPSK、16QAM ※QPSKと16QAMの階層符号化も可能	QPSK、 16QAM、64QAM
多重化方式	MPEG-2 Systems	MPEG-2 Systems	MPEG-2 Systems	MPEG-2 Systems	MPEG-2 Systems	なし
簡易動画符号化方式	H.264/AVC	H.264/AVC	H.264/AVC	H.264/AVC	H.264/AVC	なし
音声符号化方式	MPEG-2 AAC	MPEG-2 AAC	MPEG-4 ER BSAC	MPEG-4 HE AAC	MPEG-4 HE AAC	HDC
低消費電力技術	部分受信 (一部帯域のみ復調)	狭帯域	狭帯域	タイムスライシング (間欠受信)	部分復調 (周波数+時間領域)	狭帯域
情報ビットレート (標準値)	416kbps/429kHz	312kbps/1セグ(429kHz)	1.5Mbps/1.54MHz	5~11Mbps/8MHz	6Mbps/6MHz	97kbps/140kHz ※FM-IBOCのデジタル信号部分
その他	ISDB-Tワンセグ・DVB-H・MediaFLOに対応したシングルチップが開発(商品化)。	(左に同じ。)	—	(左に同じ。)	(左に同じ。)	ISDB-Tワンセグ・DVB-H・MediaFLOとの間でシングルチップは未開発。

# 諸外国の携帯端末向け放送サービスの現状



ワンセグ  
 DVB-H  
 T-DMB  
 MediaFLO

---

固定受信はDVB-T (移動受信については未定)  
 RRC加盟国 (※DVB-T採用の可能性が高い)

現在DVB-T採用国23カ国中14カ国がDVB-Hを採用していることからDVB-H採用の可能性が高い

2008年1月現在  
出典:OECD報告書他各種資料

※国名に黄色の網掛を付した国はサービスが開始されている国。

# 地上デジタルテレビ放送方式海外普及活動の経緯及び現状

ブラジルにおけるデジタル放送の円滑な導入を支援するとともに、ブラジルと連携しながら、他の南米各国が日本方式を採用するよう積極的に働きかけを行っている。

## ベネズエラ

- ・2007年 7月 日本方式の試験放送実施
- 放送方式決定時期は、本年早期を予定**

## コロンビア

- ・2007年 11月 日本方式の試験放送実施
  - ・2007年 11月 官民代表団が訪問し、デジタル放送方式採用の働きかけを実施
  - ・2007年12月 国家テレビ委員会総裁等を招聘
- 放送方式決定時期は、本年5月を予定**

## エクアドル

- ・2007年 4月 ブラジル、エクアドルの外相間で地上デジタルテレビ放送導入において協力するとの覚書締結
  - ・2007年10月 ロハス通信長官を招聘
  - ・2007年11月 ジュンダ国家ラジオ・テレビ審議会総裁を招聘
  - ・2008年早期に、日本方式の試験放送実施予定
- 放送方式決定時期は、本年中を予定**

## ペルー

- ・2007年 4月 アンデス共同体主催の日米欧の3方式セミナー及びデモンストレーションに参加
  - ・2007年11月 日本方式の試験放送実施
- 放送方式決定時期は、本年早期を予定**

## チリ

- ・2007年 2月 日本方式の試験放送開始
  - ・2007年 6月 チリ下院に対するセミナー・デモンストレーション実施
  - ・2007年 8月 菅前総務大臣が訪問し、コルタル運輸通信大臣と会談
  - ・2007年 8月 ペーゴ通信庁次官を招聘
  - ・2007年12月 代表団が訪問し、デジタル放送方式採用の働きかけを実施
  - ・2008年 1月 官民代表団が訪問し、デジタル放送方式採用の働きかけを実施
- 放送方式決定時期は、本年春を予定**

## ブラジル

- ・2006年 4月 伯3閣僚が訪日  
両国外務大臣間で日本方式を導入時の協力に関し覚書締結  
竹中大臣訪問。
- ・同年 6月 **日本方式を基礎とするデジタル放送方式の採用を決定**
- ・同年 10月 第1回共同作業部会開催（ブラジリア）
- ・2007年 4月 第2回共同作業部会開催（東京）
- ・同年 8月 菅前総務大臣がアレンカル副大統領、ロウセフ文官長及びコスタ通信大臣と会談
- ・同年 12月 第3回共同作業部会第1回開催（ブラジリア）  
**サンパウロで本放送開始**

## ウルグアイ

- ・2007年 8月 欧州方式の採用を決定

## アルゼンチン

- ・2006年12月 我が国から機材を搬送し、試験放送を実施
  - ・2007年 2月 官民代表団が訪問し、デビド公共事業大臣等に採用要請
  - ・2007年 8月 菅前総務大臣が訪問し、フェルナンデス首相及びデビド公共事業大臣と会談
  - ・2008年内 試験放送実施予定
- 放送方式決定時期は未定**

## 【東南アジア】

## フィリピン

- ・2007年11月 代表団を派遣し、日本の試験放送実施
  - ・2008年 1月 カノーバスNTC委員長を招聘
- 放送方式決定時期は、本年3月を予定**